



# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 東大

上場会社名 芦森工業株式会社

コード番号 3526 URL <http://www.ashimori.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 岳 文雄

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 胤森 秀昭

TEL 06-6533-9253

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	31,401	11.1	△123	—	△123	—	△114	—
24年3月期第3四半期	28,265	△4.7	△725	—	△812	—	△1,312	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △90百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △1,256百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△2.03	—
24年3月期第3四半期	△23.16	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	32,592	10,328	31.6
24年3月期	32,936	10,394	31.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 10,315百万円 24年3月期 10,380百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末日における配当予想額は現時点で未定であり、今後の業績等を総合的に勘案し見通しが立った時点で開示いたします。

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	13.2	600	—	600	—	450	—	7.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	60,569,390 株	24年3月期	60,569,390 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	3,813,624 株	24年3月期	3,921,424 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	56,720,761 株	24年3月期3Q	56,652,052 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 上記の配当予想は、当期を取り巻く経営環境が依然として厳しく、先行きが不透明な状況にあることから、現時点においては未定とさせていただき、今後の業績等を総合的に勘案し、見通しが立った時点で速やかに開示を行う予定としております。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、東日本大震災の復興関連需要や各種政策効果に支えられ、緩やかに持ち直す傾向が見られましたが、欧州政府債務危機による金融資本市場の変調や新興国経済の成長鈍化、また長引く円高基調等もあり、依然として厳しい状況のうちに推移いたしました。

このような情勢のなかで当社グループは、販売体制の一層の強化と新商品の開発による新規市場の開拓により事業領域の拡大をはかるとともに、各業務プロセスの見直しや調達体制の再構築に取り組むなど、徹底した合理化を推進し、業績の向上に努めてまいりました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、314億1百万円と、前年同期比11.1%の増収となりました。損益面は、1億23百万円の経常損失（前年同期は8億12百万円の経常損失）、1億14百万円の四半期純損失（前年同期は13億12百万円の四半期純損失）となりました。

以下、セグメント別に概況をご報告申し上げます。

当社は、カンパニーを基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車安全部品事業」「機能製品事業」「パルテム事業」の3つを報告セグメントとしています。

#### (自動車安全部品事業)

シートベルト、エアバッグは、東日本大震災による減産からの回復に加え、新規車種の立ち上がりにより売上が増加いたしました。また、自動車関連用品(内装品その他)につきましても、海外販売が順調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上は249億67百万円と、前年同期に比べ、16.6%増加いたしました。

#### (機能製品事業)

「ジャストップ」をはじめとした防災関連商品は、相次ぐ自然災害対策需要を受け、売上が増加いたしました。また、「シリカスクリーン」も売上を伸ばしましたが、ゴム工業資材用広巾織物が国内需要の低迷や円高の影響を受け、売上が減少いたしました。

この結果、当事業の売上は35億54百万円と、前年同期に比べ、3.1%減少いたしました。

#### (パルテム事業)

パルテム事業の各分野における売上につきましては、農業用水分野と電力分野では大型物件を受注するなど順調に推移し、売上が増加いたしました。しかし、下水道分野は、官公需低迷の影響を受け、売上が減少いたしました。

この結果、当事業の売上は28億68百万円と、前年同期に比べ、9.4%減少いたしました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は325億92百万円であり、前連結会計年度末に比べ3億44百万円減少いたしました。これは、受取手形及び売掛金の減少4億92百万円などが影響したものです。

負債総額は222億64百万円であり、前連結会計年度末に比べ2億78百万円減少いたしました。なお、正味運転資本（流動資産から流動負債を控除した金額）は△81百万円で、流動比率は99.6%となっております。

純資産は103億28百万円であり、自己資本比率は31.6%と、前連結会計年度末の31.5%からやや上昇しております。

#### ②シンジケートローン契約の締結

第2四半期連結会計期間において、当社は平成23年9月26日付で締結したシンジケートローン契約が平成24年9月25日に契約期間満了となりましたので、引き続き運転資金の安定的な資金調達を目的として、平成24年9月20日付にて新たに株式会社三菱東京UFJ銀行をはじめとする取引金融機関6行と借入極度額100億円のシンジケートローン契約（コミットメント期間平成24年9月25日～平成25年9月19日）を締結しております。

なお、借入金実行残高合計は平成24年12月31日現在、79億円となっております。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の業績予想につきましては、平成24年11月2日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更  
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,946	3,332
受取手形及び売掛金	10,814	10,321
商品及び製品	1,617	1,739
仕掛品	1,902	2,086
原材料及び貯蔵品	2,016	1,918
繰延税金資産	476	188
その他	745	786
貸倒引当金	△53	△53
流動資産合計	20,466	20,320
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,630	3,495
機械装置及び運搬具（純額）	2,192	2,088
工具、器具及び備品（純額）	712	743
土地	2,723	2,837
リース資産（純額）	35	25
建設仮勘定	163	396
有形固定資産合計	9,456	9,587
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,675	1,203
長期貸付金	23	14
繰延税金資産	819	1,037
その他	190	174
貸倒引当金	△58	△58
投資その他の資産合計	2,650	2,371
固定資産合計	12,470	12,272
資産合計	32,936	32,592

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,463	8,979
短期借入金	6,916	9,196
未払金	1,264	971
未払法人税等	50	36
未払消費税等	32	30
賞与引当金	320	69
防災製品補償損失引当金	897	375
その他の引当金	17	10
その他	679	732
流動負債合計	19,643	20,401
固定負債		
長期借入金	1,066	—
退職給付引当金	1,630	1,675
役員退職慰労引当金	112	112
資産除去債務	29	29
その他	59	45
固定負債合計	2,899	1,862
負債合計	22,542	22,264
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,388	8,388
資本剰余金	3,987	3,232
利益剰余金	△562	76
自己株式	△744	△719
株主資本合計	11,068	10,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△211	△172
為替換算調整勘定	△476	△490
その他の包括利益累計額合計	△688	△663
少数株主持分	13	13
純資産合計	10,394	10,328
負債純資産合計	32,936	32,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	28,265	31,401
売上原価	25,956	28,142
売上総利益	2,308	3,259
販売費及び一般管理費	3,033	3,382
営業損失(△)	△725	△123
営業外収益		
受取利息	16	15
受取配当金	23	24
持分法による投資利益	28	—
受取賃貸料	16	16
為替差益	—	72
貸倒引当金戻入額	—	1
助成金収入	48	24
その他	16	14
営業外収益合計	149	168
営業外費用		
支払利息	39	49
持分法による投資損失	—	20
賃貸収入原価	17	16
為替差損	98	—
シンジケートローン手数料	52	60
投資事業組合運用損	2	4
その他	26	17
営業外費用合計	236	168
経常損失(△)	△812	△123
特別利益		
固定資産売却益	173	5
投資有価証券売却益	—	133
補助金収入	46	12
特別利益合計	220	151
特別損失		
固定資産処分損	34	19
投資有価証券評価損	370	—
ゴルフ会員権評価損	4	—
特別損失合計	409	19
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,001	7
法人税、住民税及び事業税	50	53
法人税等調整額	260	69
法人税等合計	311	123
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,312	△115
少数株主損失(△)	△0	△0
四半期純損失(△)	△1,312	△114



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,312	△115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	233	39
為替換算調整勘定	△184	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	7	△0
その他の包括利益合計	56	25
四半期包括利益	△1,256	△90
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,254	△89
少数株主に係る四半期包括利益	△2	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結会計期間末の株主資本の金額は、前連結会計年度末に比較して著しい変動はありませんが、平成24年6月28日開催の第112回定時株主総会決議に基づき、資本準備金701百万円を減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともにその他資本剰余金のうち754百万円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損を補いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が754百万円減少し、利益剰余金が754百万円増加いたしました。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。